

## 第14回堺市議会 議会報告会の振り返り（主な意見）

### ●議員の役割等

- ・今回は開催区選出議員に加えて、各テーブルにファシリテーター及びタイムキーパー担当議員を配置したことで、比較的スムーズに運営できたと考える。今回実施した体制が必要である。今後、他区での開催においては、実施のあり方について検討が必要と感じる。
- ・各テーブルにおいて、ファシリテーターと書記の兼務は難しいと考える。

### ●第1部議会報告（オンラインによる実施）

- ・2会場と本庁の議会フロアとの各会場を結んだオンライン環境が良くなく、音声聞き取りづらい場面が多々見られた。
- ・オンラインでなく、事前に録画した議会報告の映像を視聴するのも良いのではないか。
- ・オンラインで行う必要があるのか。今回、オンラインの不具合や不満な点もそこに集約されているため、同時開催とするならば正副議長が開催場所に分かれ挨拶するなど、各会場完結型で実施した方が、議員、議会局ともに労力がかなり軽減されるのではないか。
- ・リハーサルなどに会場責任者として参加したが、議会局や区役所の職員にとっては負担が大きいに思われる。

### ●第2部意見交換会

- ・意見交換の時間が余り、一人の参加者が何度も発言したり、他の参加者が話している最中にさえぎる光景も見られたため、意見交換の時間配分やルールについても更なる検討が必要であると感じた。
- ・各テーブルの声飛び交い、参加者の声が大変聞き取りづらかった。パーテーションでテーブル間を区切ってからも、お互いの声聞き取りにくかった。次回、区役所での開催では、会場の広さの確認が必要と思う。
- ・会場が狭いため傍聴者が移動できる状態ではなかった。傍聴者が移動できるような配置や、配置場所の設定を考える必要がある。

### ●意見交換のテーマ、参加者募集等

- ・申込状況がくたばしくなかったのは、区役所開催であったからではないか。今後、各区で開催するならば、各区特有の課題や広く堺市民が興味を持つテーマを考える必要がある。
- ・男女比が偏ったテーブルがあった。
- ・担当したテーブルでは、テーマである「若者」の問題に関心のある方や開催区在住の方が少なかった。テーマに沿った参加者募集は、本庁開催よりも各区開催の方が一層難しいのではないか。